

令和2年度第2回県南西部地域医療構想調整会議
における書面表決の結果

令和3年2月

議案	結果	委員からの意見	県の考え方
1 笠岡市民病院の病床削減について	<p style="text-align: center;">合意</p> <p>同意あり 32名 保留 1名 (委員 33名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒字化するのが難しい規模である。医師などスタッフの確保には市長自らが動かないと難しいと思われる。 ・笠岡市民への税負担等、収支、採算、市民病院としての性質上やむを得ないのでは。 ・内科系救急医療(入院)の充実に期待する。 	<p>笠岡市民病院に伝えます。</p>
2 長野病院の移転に伴う病床機能変更について	<p style="text-align: center;">合意</p> <p>同意あり 33名 (委員 33名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総社市の救急医療に対して更なる貢献を果たしてくれるという事で大変ありがたく思っている。 ・一総社市民としては、川崎医大、倉敷中央病院の受け皿として長野病院は増床すべきである。 	<p>総社市が属する二次医療圏の既存病床数が基準病床数を超えていることから増床は困難です。</p>

<その他、会議全般に関する委員からの意見>

- ・新型コロナウイルス感染症のような事態に対応できるよう検討を進めることも必要であると考えますが、会議開催の間隔が空いたこともあり、これまでの議論等を踏まえ、課題と検討状況を今一度整理し今後の議論に備えられたらと考える。